

2016年2月3日

各位

会社名 株式会社メディアグローバルリンクス
 代表者名 代表取締役社長 小野 孝次
 (コード番号:6659)
 問合せ先 取締役管理本部長 武田 憲裕
 (TEL. 044-589-3440)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2015年5月8日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1)2016年3月期 連結業績予想の修正(2015年4月1日～2016年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	5,700	400	390	300	54円52銭
今回修正(B)	5,600	180	155	50	9円08銭
増減額(B-A)	△100	△220	△235	△250	
増減率	△1.8%	△55.0%	△60.3%	△83.3%	—
前期(2015年3月期)実績	5,355	500	538	531	97円30銭

2. 修正理由

当社製品のエンドユーザーである放送業界は、ビジネスおよび技術の両面で世界的に変革期を向かえています。大きな市場である欧米では、多くのエンドユーザーは変革をポジティブに捉えており、将来に向けての積極的な取り組みを検討していますが、足下では先行きを見極めるために一時的に需要が停滞する状況となっています。当社製品需要への影響は限定的ですが、売上高は期初の計画を下回る見込みです。また、売上高総利益率は、比較的利益率の高い製品の販売割合が減少したため、期初計画の水準には届かない見込みとなりました。

市場の変革に際して、エンドユーザーから当社技術への関心は高まっていますが、その一方で競合他社の市場参入が増えており、競争環境は厳しくなっています。そのため、当社グループでは、新製品の開発と市場展開をさらに強く進めるため、研究開発とマーケティング活動に費用を重点的に投入しています。長期的な視点から、その費用を急激に押さえることは得策ではないと考えており、販管費は期初の計画通り前年比大幅に増加する見込みです。その結果、2016年3月期通期の利益額は期初計画を下回る見込みとなりました。

なお、上記に記載した数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績は、今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上